

えほんのおへや通信



2010年7月1日(木)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

夏至は夏真っ盛りという意味ですが、梅雨の最中でその実感がなく過ぎ去りました。実感としての夏は一月先、これから本格的な夏到来といえましょう。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」7月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「ぼうし ぴよこ」

前田マリ作

帽子の中から何かがぴよこ！もひとつ、ぴよこ！帽子が持ち上がり、体の一部が見えてきました。そして、帽子をかぶったまま「たっちして とん」「こっちむいて とん」と、楽しい動きを見せてくれます。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「おかしな おかし」

石津ちひろ文 / 山村浩二 絵

スポーツセンターにやってきたお菓子たち。準備体操をし、トランポリンをしたり、バスケットボールやサッカーもします……。



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「ならんで ならんで しゅっぱぽー」

いとうせつこ作 / 勝山千帆絵

虫たちの村で、虫の子どもたちが遊ぶ相談。くわがたくんと、くもちゃん、すずむしくん、そしてあわふきちゃんも加わって、汽車ごっこをすることにになりました。



こどものとも

5～6歳向き

「かえるくんとけらくん」

得田之久作 / やましたこうへい絵

ある日、かえるくんの歌声に引き寄せられて、けらくんがかえるくんの家の隣に引っ越してきました。仲良くなったふたりですが、ささいなことでもけんかをしてしまいます。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「くさはらの わたしの へや」

松岡達英作

草原にビニールシートをしくと、わたしのへやのできあがり。さいしょにやってきたのは、アリ、テントウムシ、ダンゴムシ。ブルブルと飛んできて着地したのはトノサマバッタ。小さな生きものが次々とやってきます。



今月は他にこんな絵本も購入しました。

「すいかくんがね…」

とよたかずひこ さく・え

2歳から

夏のすいかわりです。ひよひよいのひよいと、棒をよけるすいかくん。「みんなへただなあ」。とうとう棒があたっても……「しんぱいごむよう！」。まっかにうれたおいしいすいか、みんなでめしあがれ！



【雑感】

若者に聞こえるのに大人には聞こえない音域がある。深夜、コンビニ周辺でたむろして騒ぐ若者らに手を焼き、試しにこの音を流してみたらたちまち姿が消えたという。若者の耳には不快らしい

不快な音といえば今、開催中のサッカーW杯の応援で吹き鳴らされるブブゼラ、場外ならうるさい音にしか聞こえないだろうが、スタンドでは威力を発揮する。不思議なものだ。



「プレNEO 楽しく遊ぶ学ぶ

かず・かたちの図鑑」

作：黒澤俊二 監修

花びらの数やハチの巣の形、お金の数字や国旗の模様など、はじめて算数に触れる子どもたちが、身近な自然や生活に結びつけて、「かず」「かたち」を考えるユニークな図鑑です。

童心社



小学館

※絵本の表紙の画像は出版社の許可を受けて掲載しています。